

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
310014	X-21-B-1-310014	2	前期	【1年次生】国際学部国際化学科	専門	必修	1年
				【1年次生】国際学部国際化学科英語集中コース	専門	必修	1年
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際化学科	専門	必修	1年
				【2年次生以上】国際学部国際化学科英語集中コース	専門	必修	1年
基礎ゼミナール1	安藤 潤			【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【2年次生以上】情報化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【2年次生以上】情報化学部情報システム学科情報コース	×	×	×

#### ゼミテーマ・タイトル

家計経済学・家族社会学入門—家計から見る日本と世界の食と家事労働

#### 内容

このゼミでは家計 (household) をその視点に据え、主に日本を含む世界の経済や社会の現状について考え、教員とともに議論し、よりよい解決策を考えたいと思います。

皆さんは買い物に行きますか。私は基本的にほぼ毎日買い物に行きます。そこでは値段が時に上昇し、時に下落し、私たちの生活に大きな影響を及ぼすことがあると同時に、それは日本で、あるいは世界でその商品に何が起っているかを教えてくれる貴重な情報でもあります。

日本の和食は今、世界で大きなブームになっています。特にその代表格が寿司、中でも回転寿司です。回転寿司屋は日本のフードシステムの一部である外食産業の一角を担うまでになっています。回転寿司が世界に広がることで回転寿司産業は利益を拡大する大きなチャンスを手に入れたと言えます。しかし、喜んでばかりいられるでしょうか。

この寿司に代表される和食の世界的ブームをはじめ、日本と世界の食と、それに関連する様々な問題が前期の中心的なテーマです。教材としては新聞記事、雑誌記事、視聴覚資料などを用います。また、グループ学習も取り入れます。

\*後期については「基礎ゼミナール2」のシラバスを読んでください。

#### 使用予定テキスト

前期は新聞・雑誌記事、視聴覚資料を主に用いる予定です。使用する場合は別途連絡します。

#### ゼミの進め方

報告者による報告、そのコメンテータとの質疑応答、他のゼミ生と教員との質疑応答という形式をとります。ときに1グループ4名程度でグループ学習とプレゼンテーションも取り入れます。

#### 成績評価基準

出席 50%、ゼミでの発言や取り組む姿勢 (レジュメの作成など) 30%、課題の提出 20%。ゼミ中の態度や遅刻があまりにひどい場合、前期・後期のタームレポート未提出者には、たとえ欠席がなくとも単位を与えません。原則として欠席は認めません。

#### ゼミ選択上のアドバイス

日本と世界の食文化・食糧問題、家族、家事労働、といったことに関心のある学生に来てもらえればと思います。「基礎ゼミナール」は前期・後期ともに同じ教員のゼミに配属されるので、後期の「基礎ゼミナール2」のシラバスもよく読んでください。

#### その他

##### ●教員の研究テーマ

大学院時代は 80 年代のアメリカ経済を中心に、軍事支出が経済にどのような影響を与えたのかについて研究していました。最近は労働と家事・育児の時間配分、結婚と女性の労働供給、結婚の経済分析といった家計経済学も研究しています。それ以外に、個人的な趣味でドイツの食文化のごく一部に関心があります。

##### ●新入生への一言

入学おめでとうございます。昔、僕が小学生のころ、「6・3・3で12年」という学習機のCMがありました。僕の場合、振り返れば6・3・3の後にさらに2・4・2・6が付け加わります。まるで昔の大阪市内の電話番号みたいですね (と言ってもわからないか)。長いこと学生をやっていましたが、学生生活は本当に楽しかったです (30歳まで学割を使いました)。皆さんも4年後卒業するときに「楽しかった」と思ってもらいたいです。ただ、「楽しさ」といってもいろいろな「楽しさ」があります。大学生としての本当の「楽しさ」を見つけてください。

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
310014	X-21-B-1-310014	2	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	必修	1年
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	1年
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	必修	1年
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	1年
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【2年次生以上】情報化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【2年次生以上】情報化学部情報システム学科情報コース	×	×	×

ゼミテーマ・タイトル

世界について考えるとき、考えるべきこと

内容

世界には紛争が絶えない。暴力に満ちあふれている。正義のためにはやっぱり戦争が必要なのだろうか。この問いを基本に、下記に示す絵本のような専門書をみながら読みながら、グループワークもやって映像資料も読み解いて、そういうことやりながら、世界の見方について、考えてみたい。予定してるメニューは次の通り。

<グループワーク>

人が何を社会正義だと考えるかについてインタビューしてみる。  
自分にもっとも影響を与えた人について考える。  
正義の戦争はありえるのかについて考える。  
壁と橋と扉をモチーフに紛争と和解について語る。  
写真から物語を読み取る。

グループは何回も組み替えます。全員が全員と話をすること、これを目標にします。

<映像資料>

国際平和映像祭の作品鑑賞など。

<本の講読>

グループごとに、指定教科書の指定箇所について、教員が提起する問いについて話し合い、その内容をグループで協力して報告してもらいます。

<400字課題>

毎回ゼミ終了後、次のゼミまでに、400字の文章を作成する課題をだします。内容はすべておまかせ、どんなことでもかまいません。全12回提出で、ゴールです。だれでも分かる言葉でだれにも書けない文章を書く、これを目標に文体を鍛えます。毎回の予習・復習に、合わせて4時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらいます。

使用予定テキスト

池田浩士・高谷光雄『戦争に負けないための二〇章』共和国  
(購入してもらいます)

ゼミの進め方

グループワーク中心に進めていきます。グループは適宜、組み替えます。また1回のゼミに複数の学習パターンを組み合わせます(90分のなかで、映像を見て、講読もして、グループワークも実施する)。大学の付近に散歩にいったりもします。

成績評価基準

グループワーク(どのようなものであれチームの中でなんらかの貢献ができていたか)50%+毎回のコメントカード(授業で学んだことを毎回適切に記録しておくことができたかどうか)50%

ゼミ選択上のアドバイス

大学生前半、大切なのは今現在の自分自身をぜったいに卑下しないこと。これまでの人生、まったくもって短いにしろ、それなりに思考の力を手に入れてきたはず。まずはその力に気づきたい。そこるところからゼミをはじめたい。これまで自分が生きてきた環境と自分自身のスタイル、この双方が培ってきた自分自身の思考のシステム、これを明確に意識していこう。ただ、それを自分一人でやり遂げるのは難しい。だからゼミが役に立つ。毎回かならず誰かしら他の学生と話をしなければいけない仕組みにする。人と交わるのが苦手な学生は自分を変えるチャンスになる(たぶん)。イツメンと手を繋いで学校に来てイツメンとだけ目を合わせ言葉を交わしあとは沈黙のまま授業終了そして帰宅なんてパターンの学生も、自分を変えてみようとするチャンスになるかもしれない(そんな自分が恥ずかしいと思えるようになるかもしれない)。人生何事もかならず本質的な何かへの準備的なトレーニングになりうるものである。人とかかわるのが得意な学生は本領発揮して苦手な学生を巻き込んで全体を盛りあげ、苦手な学生は人の話をじっくりきいて上手にうなづき話し手に自信をもたせてあげよう。それもとても大切な貢献になる。楽しい人は思い存分楽しんで好いと想う。でも、20年後の後悔は激痛となってこころを襲う。問題意識の開拓はいましかない。

その他

LINEグループを作って連絡用、教材配布用、400字課題提出用に使います。

【授】: 授業内容【前・後】: 事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
310014	X-21-B-1-310014	2	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	必修	1年
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	1年
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	必修	1年
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	1年
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
基礎ゼミナール1	小山田 紀子			【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×

ゼミテーマ・タイトル

国際社会を見る眼を養おう

内容

・教員の研究テーマ

北西アフリカの旧フランス植民地であった地域（チュニジア・アルジェリア・モロッコ）の近現代史を勉強しています。この地域は、アラブ・イスラーム世界に含まれますので、中東やイスラームについても研究しています。またフランスの近現代史や今日のフランスの移民問題に関心を持っています。近年は、日本に住むイスラーム教徒など、外国出身の人々との異文化接触についても学生の皆さんと一緒に勉強しています。

・内容

1990年代以降、世界的なイスラーム復興運動が注目を集める中、2001年の9.11事件（アメリカの同時多発テロ）が起こりました。さらに2011年には、「アラブの春」と呼ばれる中東の変革の波が北アフリカ（チュニジア革命）から拡大しています。グローバル化の進む今日の世界では、このような大きな事件は直ちに日本にも影響を及ぼします。なぜ、どのようにしてこのようなことが起こるのか、を考えていくために、世界の動向を特に中東や発展途上諸国の側から検討していきたいと思っています。またヨーロッパについては私の専門とするフランスという国についてみていきたいと思っています。そしてこのような国際社会を見ていくためには、そもそも日本とはどのような国なのか、を知る必要があるでしょう。世界中の日本の位置についても考えてみたいと思っています。

毎回の予習・復習に、合わせて4時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらいます。

使用予定テキスト

授業の第1回目に文献リストを配布し、ゼミ学生の関心に沿ってテキストを選びます。例えば、入江昭『平和のグローバル化へ向けて』、小熊英二『日本という国』、山本三春『フランス—ジュネスの反乱』（朝日新聞社）、宮島喬『ヨーロッパ市民の誕生』（岩波新書）、水谷周編著『アラブ民衆革命を考える』（国書刊行会）等を考えていますが、テキストは未定。

ゼミの進め方

第1回目のゼミでテキストを決定し、これを全員で輪読します。毎回報告者は、担当の箇所を読んでレジュメを作成してきて発表します。それに対して、他の学生も質疑応答して議論に参加します。テキストを読み終えたらレポートを作成してもらいます。これらを通して、本の読み方、議論の仕方、レポートの書き方など、基本的な勉強の方法を学びます。

成績評価基準

ゼミでの発表の内容、レポート、出席状況とゼミ活動に積極的に参加しているか等により評価する。

ゼミ選択上のアドバイス

大学という恵まれた自由な環境の中で、いろいろなことを学び考えて、自分の生き方を模索して下さい。先生や友人との交流を大切に充実した4年間を過ごしてほしいと思います。基礎ゼミナールもそういう場にしたいと思っています。大学生生活をスタートさせる大事なゼミです。欠席は認めません。

その他

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
310014	X-21-B-1-310014	2	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	必修	1年
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	1年
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	必修	1年
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	1年
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×

**ゼミテーマ・タイトル**

ゼミテーマ・タイトル 「法律学ってけっこう役に立つ!？」

**内容**

●新入生への一言

Congratulations on passing the entrance exam. さて、大学にはゼミナール(ゼミ)という時間があります。ここでの主役は先生ではなくて参加しているすべての学生です。ですから、ゼミの時間を楽しくするもしないも、主役である皆さんにかかっているといってもよいでしょう。ゼミでどうか「スター」になってください。

●内容(目的やねらいも含む) 賃貸借契約、遺言、黙秘権、表現の自由、国際条約、ということばに共通するものはなにか、と問われれば、なんと答えるでしょうか? 「法」とか「約束」という答えを想定することができると思います。

より細かく見れば、それぞれ民法(借地借家法)、刑法(刑事訴訟法)、憲法、国際法といった具合です。そして、わたしたちは実は様々な場面で、この法と関わっていることができます。

ところで、ほとんどのみなさんは法的にみて、「未成年」の年に1年生ゼミナールに参加することになります。2年後には、およそすべての法律の適用対象となってしまいます。原則として、もう少年(少女)Aではありません。その前にできるかぎり、法というものの考え方に接しておくことは決して無駄ではないと思います。

そこで、このゼミナールは、各ゼミ生の法的な思考をより深めさせることを目的とし、また目標としています。

具体的にいうと、同性間の結婚、死刑廃止の是非、男女区別の合法性(レディース・デイとは男性に対する差別か、適法か)、美容整形に納得がいかないときの慰謝料、児童の権利といったトピックや問題について法という視点を通して検討してゆきたいと考えています(そのほか、学生の希望テーマも取り上げます)。

難しく思うかもしれませんが、できるだけ具体的に検討します。どうか、安心して下さい。また、皆さんにとってゼミを受けることは初めての経験だと思いますので、報告のやり方、レポートの書き方については、十分に時間をかけて説明をする予定です。

その他、学生のみなさんの希望に応じて、英語(洋楽を聞き、その歌詞から学ぶとか)や初級のフランス語に親しむべく、英語やフランス語を少し学習することもあるかと思えます。

毎回の予習・復習に、合わせて4時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらいます。

**使用予定テキスト**

松井ほか『初めての法律学』有斐閣

『わたしたちと法』現代人文社

円道祥之『空想科学裁判』宝島社 など

**ゼミの進め方**

まずは、指定したテキスト(文献)をゼミ生全員で読み、それについて議論をしてもらおうということを考えています。その後、各ゼミ生が自分で選択したテーマを素材に、報告をし(自由報告)、それについてゼミ生全員で検討するというかたちでゼミを進めます。

レポートの提出を求めることも考えています。

**成績評価基準**

報告やレポートの良し悪し(50パーセント)、ゼミへの参加度(50パーセント)を基準に成績をつけます。

**ゼミ選択上のアドバイス**

上にみた「内容」でとりあげたような諸問題に関心がある学生の参加を求めます。これらの問題について自分なりの意見をしっかりと提示できるよう、十分なりサーチをし、その上でなにか問題を解決・調整してやろうというやる気をもった学生を大歓迎します。

繰り返しになりますが、報告のやり方、レポートの書き方については、十分に時間をかけて説明をする予定です。ですので、どうか安心して下さい。

ちなみに、ゼミでの食事会(未成年者が対象なので)を行うこともあります。

**その他**

楽しいゼミにしたいと思っています。どうぞよろしくお願ひします。

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
310014	X-21-B-1-310014	2	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	必修	1年
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	1年
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	必修	1年
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	1年
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
基礎ゼミナール1	澤口 晋一			【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×

#### ゼミテーマ・タイトル

毎日、新聞を読み世の中の動きを知る。  
 大学で学ぶということを考える。  
 自分の興味・関心は何かを探す。

#### 内容

毎日、新聞を読み、数ある記事の中で最も自分が興味を持った記事の内容を所定の書式に従って書いてもらいます。毎回のゼミの前半はこの新聞の報告およびそれへのコメントの時間とします。

時間の後半は、初年次教育（大学1年）用のテキストを使用し、大学生としての学びの技法（アカデミック・スキルズ）を少しでも身につけられるようなものとします。

夏 休みには自由研究として自分の興味のあるテーマを設定し、それを調べてもらいます。後期の基礎演習2では、この自由研究課題の報告会から始まります。

#### 使用予定テキスト

- ・新聞
- ・佐藤 望ほか『アカデミック・スキルズ—大学生のための知的技法入門—』慶応大学出版会。
- 他のテキスト

#### ゼミの進め方

上記の内容と同じ。

#### 成績評価基準

毎回の新聞記事報告用紙の提出とその内容、口頭報告の内容および取り組み姿勢など。

#### ゼミ選択上のアドバイス

毎日、新聞を開いて眺めて、興味のある記事を見つけて、切り取ってその内容をレビューするというをやってみたい人、待ってます。  
 その他

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
310014	X-21-B-1-310014	2	前期	【1年次生】国際学部国際化学科	専門	必修	1年
				【1年次生】国際学部国際化学科英語集中コース	専門	必修	1年
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際化学科	専門	必修	1年
				【2年次生以上】国際学部国際化学科英語集中コース	専門	必修	1年
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×

ゼミテーマ・タイトル

東南アジアの地域形成を考える

内容

【ゼミの目的】

本ゼミでは、東南アジアの地域形成を学びながら、日本とアジアについて考えることを目的とします。

東南アジアは、現在、世界の中でも経済発展が目覚ましい地域であり、日本企業も多く進出しています。また、毎年、多くの観光客が訪れており、日本との関係が深い地域です。さらに、アジアで唯一、地域統合が進みつつあり、2015年末には、ASEAN 共同体が発足するなど、今後の展開が注目されています。その一方で、近年では、中国との間での領土紛争などが話題になっています。

今後、東南アジアは、どのような方向に発展していくのでしょうか。また、日本は、それによろしくかかわっていくべきなのでしょうか。安全保障や経済関係という視点を超えて、東南アジアとの間でより深い関係をつくるためには、東南アジアがどのように形成されてきたのか、日本と東南アジアがどのような位置づけにあるのか、という点について、長期的な視点から考えてみるのが重要であると考えます。

本ゼミでは、東南アジアに関する本（新書）を一緒に読みながら、東南アジアに対する理解を深めたいと考えています。

【ゼミの予定】

（前期）

基礎ゼミは、学生の皆さんが、これから大学で勉強をしていくための方法を学ぶ場でもあります。

前期ゼミの前半では、本の調べ方、文章のまとめ方、レジュメの作り方など、大学で学習するための基本的な技術について学びます。後半には、学生に新聞記事などを持ってきてもらい、最近の東南アジアの出来事、事件について報告してもらいます。

使用予定テキスト

前期ゼミでは、テキストを使用しません。

ゼミの進め方

ゼミで配布するプリント、あるいは、学生が持ってきた新聞記事などを使いながら、ゼミでの学習の仕方、資料の集め方、資料の読み方、ゼミ発表の方法について学びます。

成績評価基準

学生によるゼミへの参加と報告内容に基づいて成績を出します。具体的には、(1) ゼミへの出席・授業態度 (25%)、(2) 担当した章に関する発表内容と取り組みへの姿勢 (50%)、(3) ゼミでの発言やディスカッションへの参加 (25%)、に基づいて評価します。

ゼミ選択上のアドバイス

本ゼミでは、これから4年間、大学で学習するための基本的な方法を学びます。できるだけ欠席をせずに参加して、ゼミ仲間や教員とのディスカッションを深めてください。

その他

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
310014	X-21-B-1-310014	2	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	必修	1年
授業科目	担当教員			【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	1年
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	必修	1年
基礎ゼミナール1	山田 裕史			【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	1年
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×
ゼミテーマ・タイトル							
「大学で学ぶための知的技法の習得」および「わたしたちの日常生活と国際協力」							
内容							
<p>大学での学びにおいて大切なことは、暗記した内容を試験で答えるという高校までの学びとは異なり、自ら問題を見つけ、それを整理して、自分なりに考えて答えを導き出す能力を身につけることです。</p> <p>本ゼミナールでは、講義でのノートの取り方、図書館での文献・資料など情報の探し方とその整理の仕方、プレゼンテーションの仕方、レポートの書き方など、大学生として不可欠な学びの技法を、グループワークを通じて習得します。これらは、大学での学びに不可欠な「問いを立てて、調べ、考え、表現する」というプロセスの初歩的なトレーニングと位置づけられます。</p> <p>また、本ゼミナールは、「国際協力」をもうひとつのテーマとし、国際協力に関する基礎や、大学を含む日常生活で実践できる身近な国際協力について考えます。希望者がいれば、カンボジアをフィールドに国際協力の現場を訪問する、スタディ・ツアーの実施も検討します。</p> <p>毎回の予習・復習に、合わせて4時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらいます。</p>							
使用予定テキスト							
世界思想社編集部編『大学生 学びのハンドブック』3訂版、世界思想社、2015年							
その他、国際協力に関する基礎的な文献を適宜、配布します。							
ゼミの進め方							
(1) 文献の講読と討論、(2) 各自のリサーチに関するプレゼンテーション、を組み合わせで行います。また、本ゼミナールで学んだ技法をもとに学期末にレポートを執筆します。							
成績評価基準							
(1) 出席、(2) 文献講読と討論の内容、(3) プレゼンテーションの内容、(4) レポートの内容、をもとに総合的に評価します。							
ゼミ選択上のアドバイス							
国際協力について学ぶだけでなく、国際協力にかかわる学生団体で活動したり、日常生活においても身近な国際協力を実践したりする、意欲的な学生の履修を期待します。							
その他							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
310014	X-21-B-1-310014	2	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	必修	1年
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	1年
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	必修	1年
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	1年
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
基礎ゼミナール1	藤本 直生			【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×

#### ゼミテーマ・タイトル

英字新聞を読んで、英語でエッセイを書いてみよう

#### 内容

皆さんは、英字新聞を読んだことがありますか。このゼミでは、毎回 Mainichi Weekly という大学生向けの英字新聞を読むことに挑戦します。ちょっとむずかしそうに聞こえますが、コツをつかむと英字新聞もどンドンと読めるようになりますので心配しないで下さい。

前期の基礎ゼミナール1では、内容を確認して要約したり、そのことについてどう思うかみんなで話し合い、1つの記事につき200ワードの英文エッセイを書きます。後期のこの基礎ゼミナール2では、そのエッセイをもとにそれらを政治、経済、社会などの分野に分けて、いくつかをまとめて先行文献の紹介として書く方法を学びます。そして、最終的に自分の意見やそれをサポートする文献の加えて、1,000ワードのエッセイを学期末に完成させます。

なお、このゼミでは Extensive Reading (略して ER、多読) も併せて行います。ER では図書館にある英語の本から自分の興味ある内容の本を選んで、昼休みや放課後等の時間を使って各自のペースで読み進め、ボキャブラリーを増やして英語力の基礎も身に付けます。毎回の予習・復習に、合わせて4時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらいます。

#### 使用予定テキスト

Mainichi Weekly より次のような記事を読む予定です。その他にも最新の記事を付け加えて行きます。

- "Taxing Issue" 消費税率8%に引き上げへ 阿部首相が表明、2/15/2013
- "Monkeys Attract International Crowd" 長野県「地獄谷野猿公苑」にて、2/15/2014
- "Remembering MLK" キング牧師「私には夢がある」演説から50年、9/7/2013
- "Booming Bollywood" インド映画の新時代「きつと、うまくいく」8/10-17/2013
- "Connecting Cultures" ケリアン・パノス氏に聞くコミュニケーション学、3/9/2013
- "History Makers" ラグビーW杯 日本、初の3勝 8強はならず、10/24/2015
- "Confronting Terror" パリ同時テロ129人死亡、ISが犯行声明、11/28/2015

#### ゼミの進め方

英文記事を読み、要約の仕方やそれについての意見についてグループで話し合いながら進めます。なお、エッセイの長さは約200 words とします。このようなエッセイ・ライティングの活動を通して、基本的な英語での論文の書き方を学びます。

#### 成績評価基準

- ①出席・授業態度 30%、②英文エッセイ 40%、③ER 20% ④ファイル・マネージメント 10%

以上4点を総合して成績をつけます。なお、エッセイは期日までに提出すること。

#### ゼミ選択上のアドバイス

大学に入学して間もない皆さんが4年後のことを考えるのはむずかしいと思いますが、4年生になったら英語で卒業論文を書きたいという人は、ぜひこのゼミを選んで下さい。また、英語を読んだり書いたりすることに自信を付けたいと思っている人もどうぞ。エッセイの書き方については十分に時間をかけて説明します。

#### その他

授業で配布するプリントは、ファイルを用意してきちんと綴じて下さい。ファイル・マネージメントも成績評価に加味します。

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習